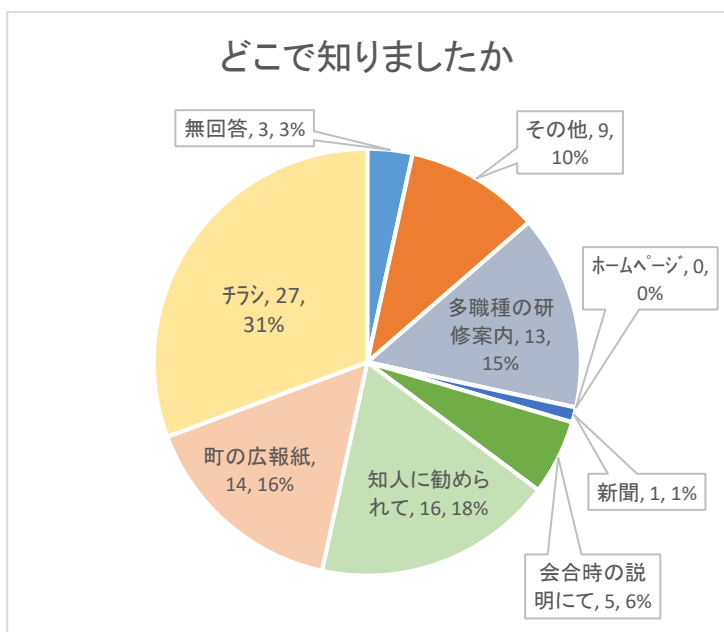
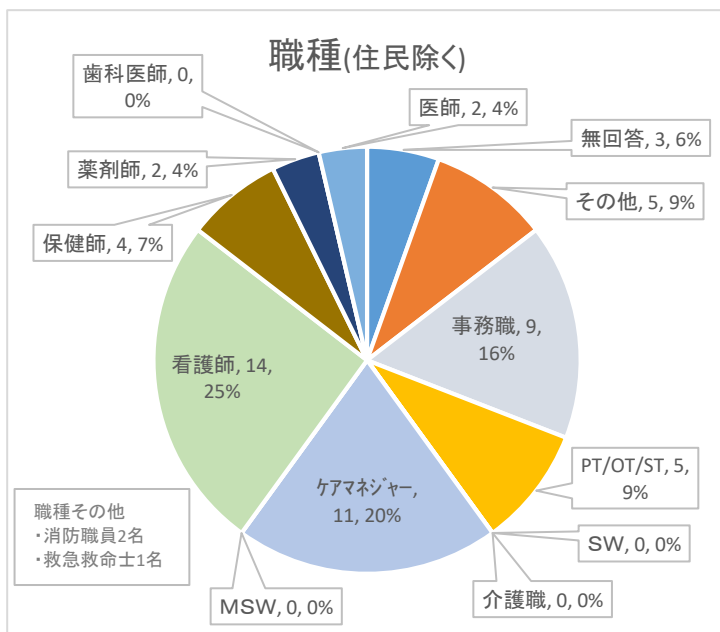
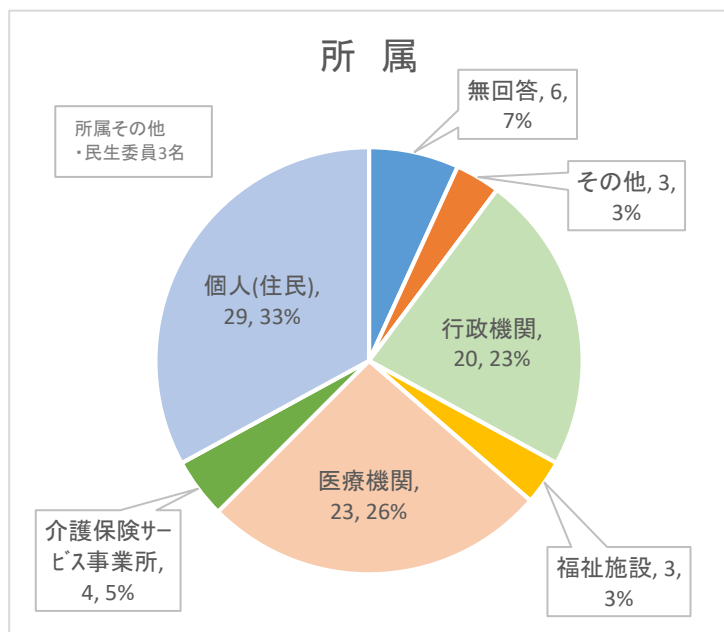
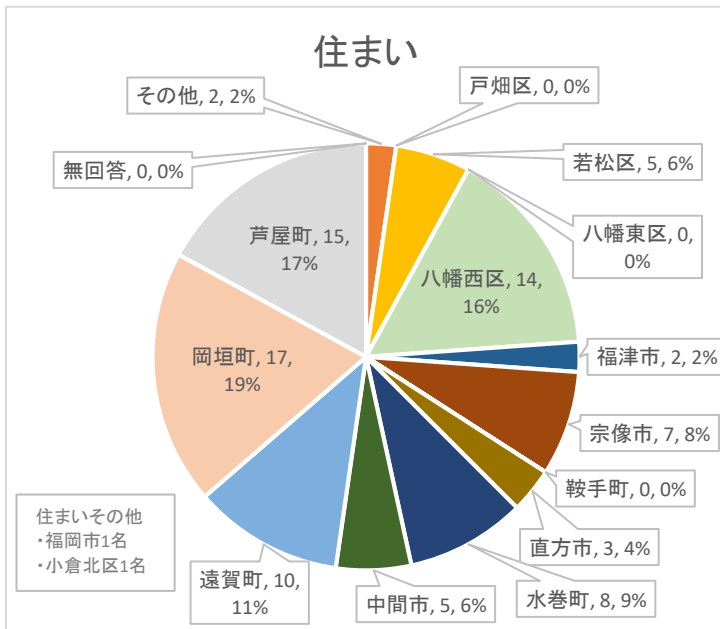
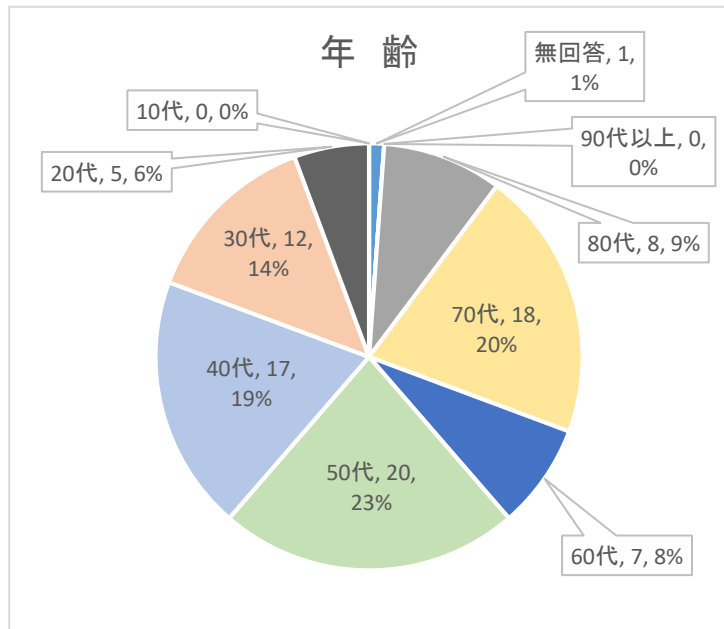


『遠賀中間地域住民公開講座』 アンケート集計

No.1

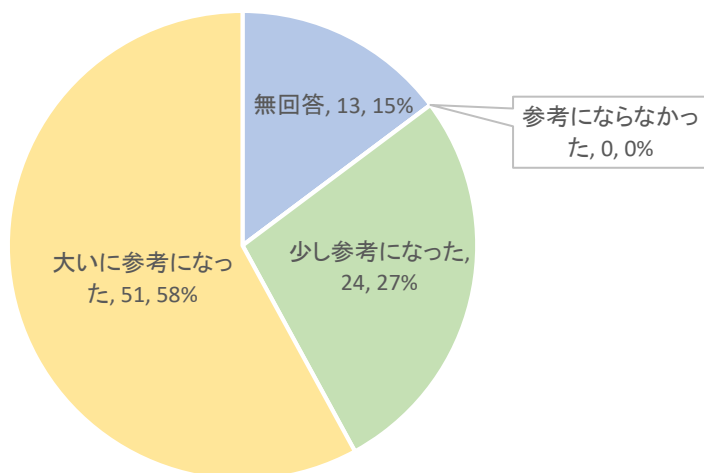
芦屋町芦屋ホート「夢リア」 H30.10.20

参加人数201名 アンケート88名



- どこで知りましたかその他
- ・尊厳死協会の会報
 - ・松股先生の紹介
 - ・上司からの勧め
 - ・新水巻病院の受付
 - ・医師会

基調講演を聞いて参考になりましたか

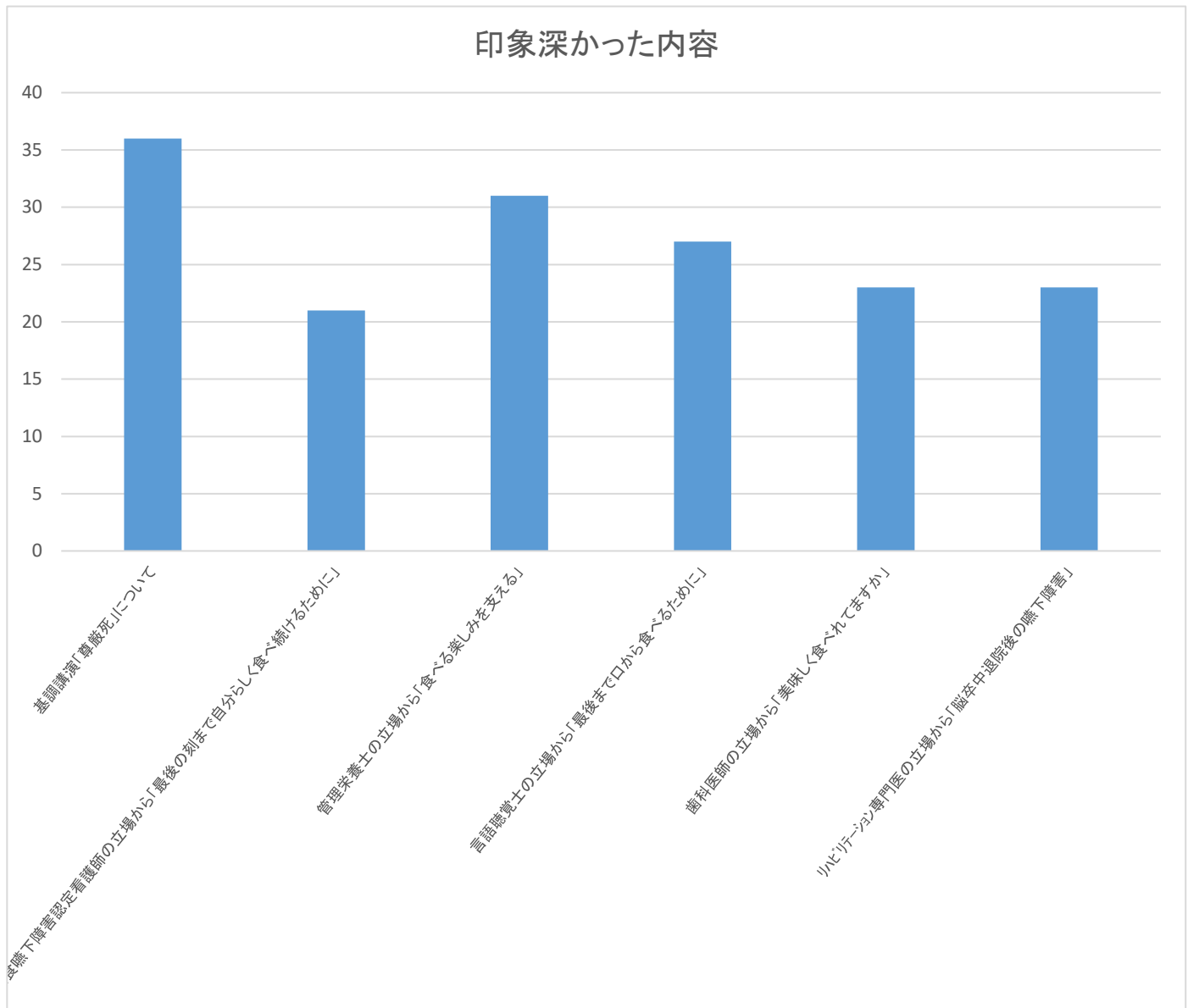


「基調講演を聞いて参考になった内容」

- ・在宅療養を支援する地域包括ケア病棟。8050問題について。事前指示書は必要だろうと…。
 - ・尊厳死についての国の方針が明確されることを期待する。マスコミが消極的なように感じられる。
 - ・自分の意志で終末を迎えるべく家族に申し伝えたい。
 - ・楽しく勉強しながら大いに参考になりました。
 - ・99歳の母を在宅で看ています。参考になりました。
 - ・尊厳死について考えさせられた。
 - ・尊厳死について学べた。もう少し私達にも身近に説明していただければありがたい。
 - ・父84歳母81歳私55歳と、これからの将来に向けて参考になった。
 - ・日常考えないというか思考から避けている死について、自分を含め家族と話し合える機会になりました。勇気をもって自分自身の老後についても、周りの方と話し合っていきたいと思います。
 - ・自分がまだ年が若いので老後の事など深く考えていなかったが、当たり前にかんだり飲んだりしていることを長く続ける為には、予防が必要ということが分かった。予防しないとただ老いていくことが分かった。
 - ・尊厳死協会が身近に浸透してきていると感じた。
 - ・尊厳死についてのお話は参考になりましたが、30分は短いと思います。もう少し詳しくお聞きしたかったです。
- あと、デイケアの紹介が長かったと思います。
- ・意思表示。
 - ・優生保護法、尊厳死法然り、法治国家の日本で人の在り方に法律が利用されている様な現状があること。
 - ・尊厳死関連法案の具体化を希望します。
 - ・栄養バランスのとれる食事のアドバイスについて。
 - ・「尊厳死」について日本が一番遅れていること。

「基調講演を聞いて参考になった内容」

- ・①の内容。
- ・リビングウィル。
- ・講演内容が簡明であり、文書化（スライド）され、理解しやすかった。
- ・その日を迎えるまでを考えられる。準備も必要と思いました。
- ・最期を選ぶのは自分自身でありたいと思いました。
- ・医療機関の意思確認の前に、自分の意思を決めておくこと。
- ・いろいろな考え方があることを知りました。
- ・事前に意思表示をしておくこと。リビングウィル。知人のお母さんが105歳で特養に入所し、食べられなくなり、経管栄養をしている。年金では足りず72歳の知人は働いて援助している。お母さんは果たして幸せなのかと思う。



「選ばれた中で特に印象深かった点」

- ・全部印象深かった。③の食事の工夫が為になりました。(冷凍食品等の使い方)
- ・舌と口の運動が大切なのを再認識した。
- ・栄養が足りないと各方面に支障をきたす。食への意志表示をしておく。
- ・舌の運動が初めてです。下の事等考えてなかったのも。
- ・胃ろうについての考え方。
- ・すべて興味がありました。
- ・食事の大切さを学びました。
- ・今までこの領域で学ぶことがなかったので。
- ・①。
- ・DNRに対する考え方や話し合いは、日本は後進国のような印象を持ちました。今後しっかり社会全体で考えるべきものだと感じました。

「選ばれた中で特に印象深かった点」

- ・食べ物を選んでバランスの良い食事しか年齢を重ねる毎に食べられない(不健康になる)と思ったが、食べたいもの食べてみたいものを食べる事が健康につながる事は、心も満たされるし、新しい考えだった。簡単な料理や保存法の話が役に立った。
- ・どれも大変勉強になりました。盛りだくさんでとても得した気分です。
- ・せっかく良いお話をされていたのに、あの切り方はないなと思いました。失礼だなと。様々なお話しが聞けて勉強になりました。お料理の話良かったです。
- ・劇団おかがきの脳トレ、参考にさせて頂きたいと思います。嚥下に対する訓練も簡単にできる舌の運動は勉強になりました。歯があることの大切さ、口腔ケアの大切さを再認識しました。
- ・口から食べる事の大事さを再認識しました。実母が誤嚥性肺炎を3回程発症し、胃ろうを造設しました。口から食べられる事の大切さを、歯みがきの大切さを思いました。
- ・摂食、嚥下について。
- ・全部印象深かったです。
- ・尊厳死について現状と問題がわかった。
- ・歯科医の指導、栄養士の料理。
- ・ちるもみじ。
- ・①。
- ・ブラッシングと脳の関係(認知症予防)。舌の運動。
- ・家族がフレイル、サルコペニアだと思います。食欲低下をどうしたらいいのか、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・嚥下のリハビリがあるのを初めて知りました。
- ・歯みがきの重要性がわかりました。
- ・高齢者の摂食嚥下障害のこと。
- ・全項目わかりやすく為になった。
- ・①。親と最期について話す機会があったので、とても参考になりました。
- ・④。食べてこそ生きてるのかと。
- ・味覚障害、食欲低下のある人に対して食べたいものなのは何でしょうか？ゴムを食べているように感じる人に対して逆に食べることもストレスに感じると思います。→実際に去年闘病した母との関わりや本人の思いなどで感じました。
- ・口腔ケアについての内容。食事について。
- ・炊飯器での調理法。
- ・食、工夫の料理。
- ・料理の方法参考になりました。
- ・専門職から個別に話を聞くことが出来た。おかがきHPの考え方や取り組みが理解できた。
- ・リハビリの訓練の仕方が興味深かった。調理の仕方。
- ・食べる事の大切さ、必要性。歯科受診の必要性。嚥下訓練など。

「催し物に対しての感想など」

- ・コト、脳トレ体操など楽しく講演に参加できました。
- ・脳トレ、歌曲を組み入れられたのは大変よかった。気分転換になった。
- ・今回は前回と異なり参考になりました。劇を入れられましたが、上々。
- ・寸劇、脳トレが楽しくできました。
- ・演劇の声が聞き取りにくい。
- ・楽しく勉強になるお話し、ありがとうございました。
- ・食事が一番良いとの事。
- ・大変ありがとうございました。是非また公開講座をお願いします。
- ・とても良かったと思います。
- ・パネリストの方々の持ち時間に対してスライドが多すぎたのではないのでしょうか。事前打合せできたので調整できたのでは？せっかく色々な職種の方のお話しが聞ける機会なので、意味のわからない寸劇よりパネルディスカッションの時間を長くしてほしいと思いました。というかディスカッションではなかったような。終わりの時間を守ってほしいです。余裕のあるスケジュールにしてほしい。
- ・家族間で日頃から尊厳死等について話すこともあるが、自分の事も考えていく必要も考えさせられました。
- ・楽しく拝聴しました。
- ・ほとんどの方が自分と同じ状態であるのかなと感じました(芝居を見て)。
- ・一人で生活している人への心の支え(一緒に行動声掛け含む)。私は去年4ヶ月入院して担当医が毎日声を掛けてくれた事が忘れられません。PT, OT, STの方々もすばらしい方々です。患者に寄り添う耳を傾ける姿には感心し安心感をおぼえました。
- ・大変勉強になりました。
- ・劇団おかがきとても良かったです。
- ・たくさんの専門の方々の話、とても勉強になりました。在宅で看取るための知識が増えたように思います。すばらしい講義をありがとうございました。
- ・住民向けであれば、専門用語をわかりやすい表現にした方が良いかと。スライドがあったりなかったり…。大切な学びとして、資料は大切ですね。入院中の食事介助にも力を入れてほしいと思います。
- ・駐車場を降りて会場までの案内がないのでわかりにくくて困った。初めて来る人も多いと思うので配慮してほしい。
- ・劇団おかがきの演劇、楽しめました。
- ・楽しかったです。
- ・勉強になりました。
- ・口から摂取することは、単なる栄養を摂ることではなく、楽しみでもあり生きがいでもあり、人間の持つ機能をできるだけ最期のときまで維持していくことが大事。口が持つ機能のすごさが改めてわかった。
- ・歌に感動して涙が出ました。すばらしいパワーでした。